

1 経緯

- 都は、開催都市の役割として、世界からの観戦客等を、東京2020大会のシティドレッシング等により歓迎し、大会の祝祭の雰囲気盛り上げることが求められている。
- 平成30年8月には「東京2020大会のシティドレッシング・大規模展示物の概要（案）」を公表。大会の盛り上げや東京の魅力発信に資する効果的な実施箇所等を検討し、IOCやIPC、組織委員会等関係者と調整を行ってきた。
- 今後、より具体的な調整を行い、本年4月から、装飾・展示物の製作等準備を進める必要がある。また、都の実施内容を明確にすることにより、区市町村や大会パートナー等の取組につなげ、都内全体を盛り上げていくことが重要である。
- このため、本年1月に本計画（案）を公表し、関係者の意見を踏まえ、この度「東京2020大会のシティドレッシング・大規模展示物基本計画」を決定した。

2 シティドレッシング

(1) 実施方針

- 都は、競技会場や東京2020ライブサイト等会場の周辺を中心に、選手や大会関係者、観戦客が通行する道路、空港、駅等を統一的なデザインのフラッグやバナー等で効果的に装飾し、大会を盛り上げるとともに、大会を世界に印象付ける。
- 装飾には、コアグラフィックス（平成30年8月組織委員会発表）を展開させた大会グッズを用いる。オリンピック・パラリンピックを一体として盛り上げるため、共通のデザインを積極的に活用する。

(2) 実施内容 ※主要幹線道路・ラストマイルの装飾箇所は別添地図1を参照

実施箇所		実施規模	実施期間
主要幹線道路	選手村から競技会場等	青山通り、内堀通り、晴海通り等 約180路線	2020年4月頃から大会終了まで
ラストマイル等	最寄駅から競技会場、東京2020ライブサイト等会場	最寄駅から競技会場 ：約70ルート 最寄駅から東京2020ライブサイト等会場 ：約10ルート	2020年6月頃から大会終了まで
空港	羽田空港	第一・第二・国際線ターミナルの 出発・到着ロビー等	
	成田空港	第一・第二ターミナルの 出発・到着ロビー等	
駅等	競技会場の最寄駅等	競技会場の最寄駅、都営線の駅等	

3 大規模展示物

(1) 実施方針

- オリンピック・パラリンピックシンボルやワードマークについては、IOCの承認を得て、国内外の多くの観戦客等が訪れる大会の象徴的な場所や東京2020ライブサイト等会場に設置。各種メディアやSNS等を通じ、東京の魅力を世界に発信する。
- 大会マスコット像は、東京2020ライブサイト等会場に配置し、大会の雰囲気盛り上げる。
- さらに、多摩・島しょ地域の主要観光地に大会マスコット像を効果的に配置することで、大会の雰囲気盛り上げるとともに、観戦客等が多摩・島しょ地域を訪れ、魅力を発見する契機とする。

(2) 実施内容 ※大規模展示物の設置場所は別添地図2を参照

種類	設置箇所	設置期間
オリンピック・パラリンピックシンボル	区部及び多摩における象徴的な場所 ・臨海部（都立お台場海浜公園水域） ・高尾山山頂 ※設置イメージは別添3のとおり	オリンピックシンボル：2020年1月頃から オリンピック終了まで パラリンピックシンボル：オリンピック終了後から 大会終了まで
	東京2020ライブサイト等 ・都立代々木公園 ・都立井の頭恩賜公園	オリンピックシンボル：2020年6月頃から オリンピック終了まで パラリンピックシンボル：オリンピック終了後から 大会終了まで
	・羽田空港（国際線到着ロビー） ・成田空港（国際線到着ロビー）	
園芸装飾（オリ・パラシンボル）	東京2020ライブサイト等 ・都立日比谷公園 ※産業労働局及び都立農業学科高校と連携	
ワードマーク（TOKYO2020）	空港から選手村までのアクセスルート上 1か所	2020年6月頃から大会終了まで
大会マスコット像 ※オリンピック・パラリンピックマスコットを 並べて設置	東京2020ライブサイト等 ・高輪ゲートウェイ駅前用地 ・東京都庁舎 ・都立上野恩賜公園 ・多摩地域会場（4月上旬確定予定） 多摩・島しょ地域の主要観光地 ・7ヶ所	2020年6月頃から大会終了まで

(3) 大会後のレガシーとしての活用

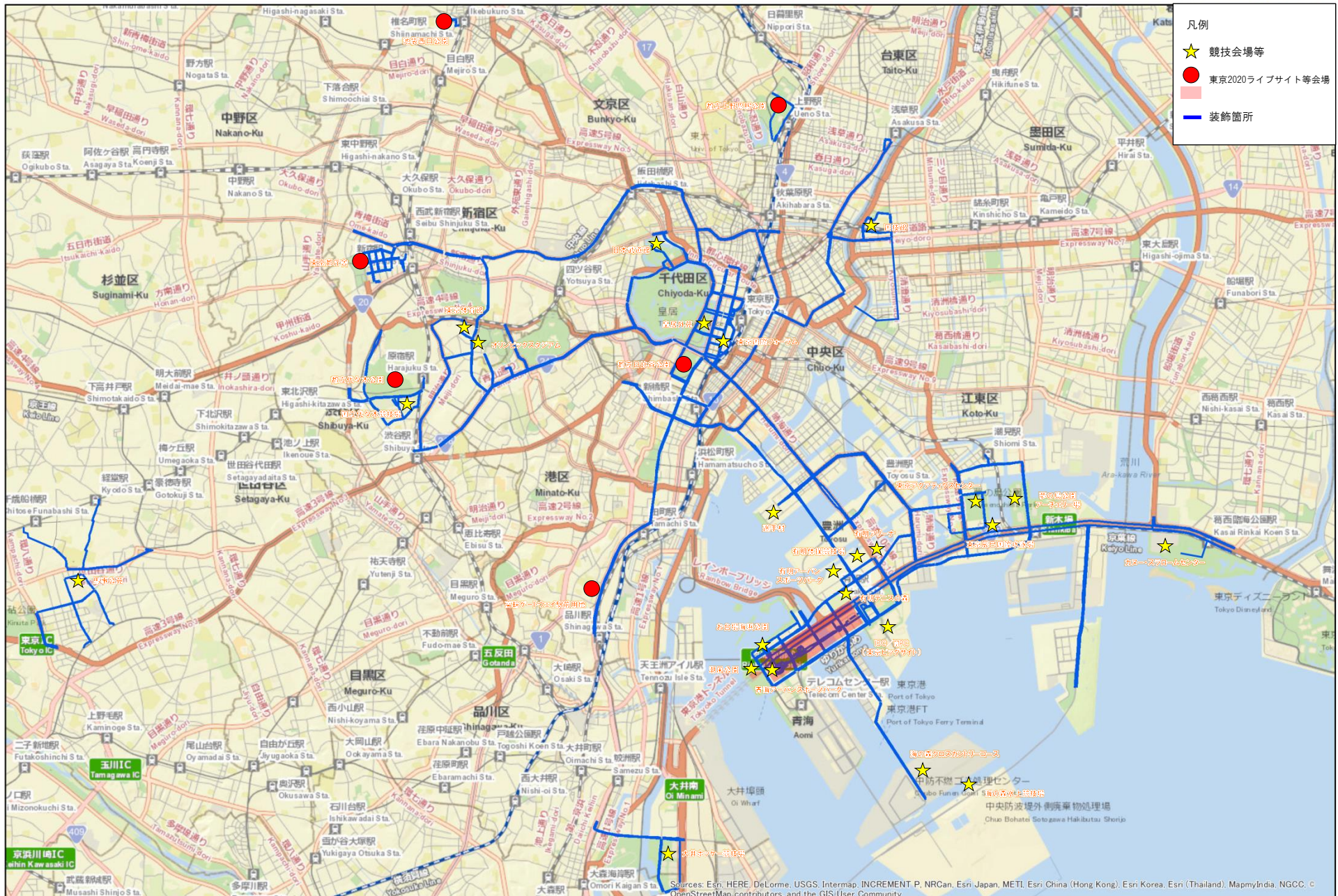
- 東京2020大会の記憶を引き継ぐため、都立スポーツ施設や学校、公園等における活用を今後検討

4 区市町村等に対する都の支援

- 区市町村による地域のシティドレッシングや大会マスコット像の設置等の取組を促進するため、都は、補助制度による支援のほか、適切な情報提供、各種相談対応を実施する。
- 都内全域の祝祭感を盛り上げるため、都や区市町村が実施するシティドレッシング等に加え、商店街、大会パートナー、鉄道・空港事業者等の協力により、都内全域にシティドレッシングや大会マスコット像等の配置を拡大していくことを目指す。

都が実施するシティドレッシング箇所

①主要幹線道路(その1)



都が実施するシティドレッシング箇所

①主要幹線道路（その2）



都が実施するシティドレッシング箇所

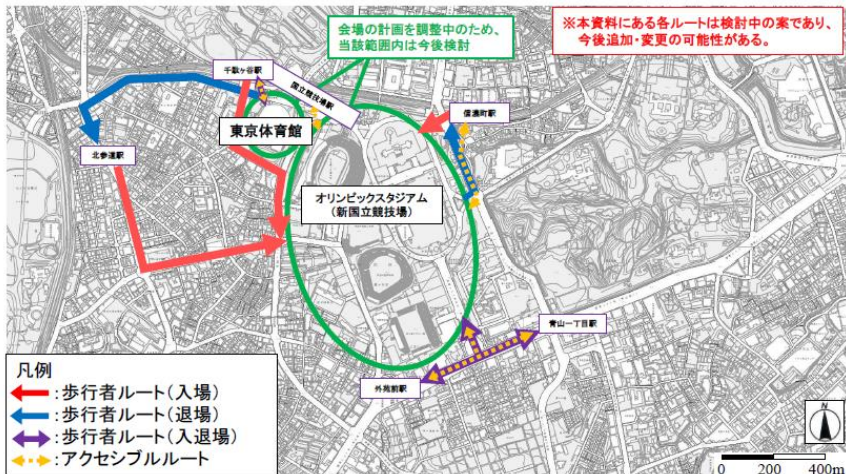
②ラストマイル（その1）

別添地図 1 - 3

オリンピックスタジアム(新国立競技場) 東京体育館 観客ルート素案

2018年3月末時点

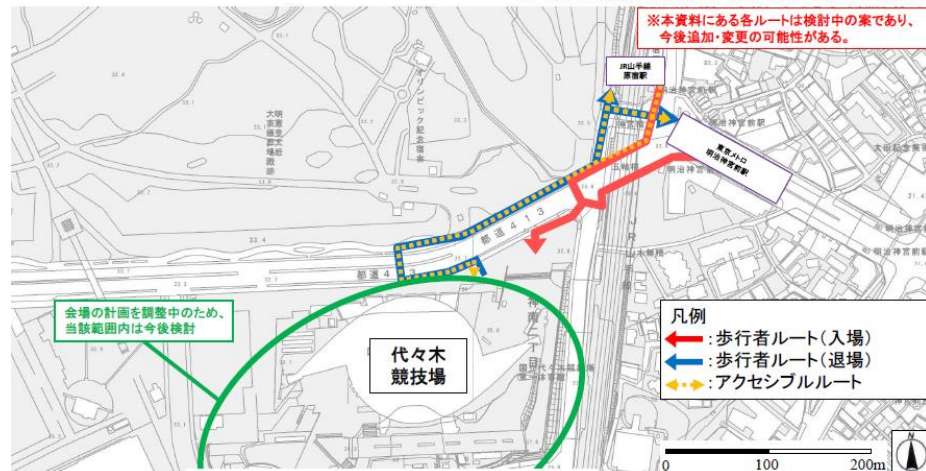
(注) この地図は、国土地理院長の承認(平24閣公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(29都市基交第847号)して作成したものである。無断複製禁ずる。



国立代々木競技場 観客ルート素案

2018年3月末時点

(注) この地図は、国土地理院長の承認(平24閣公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(29都市基交第847号)して作成したものである。無断複製禁ずる。



日本武道館 観客ルート素案

2018年3月末時点

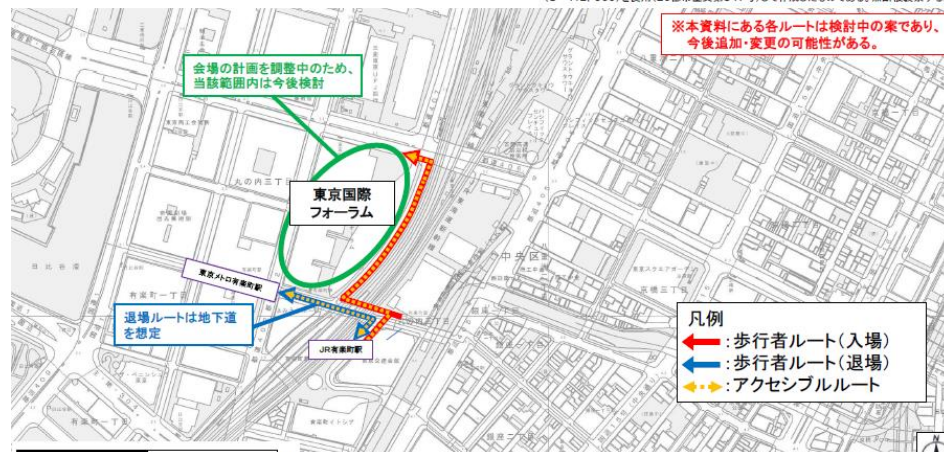
(注) この地図は、国土地理院長の承認(平24閣公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(29都市基交第847号)して作成したものである。無断複製禁ずる。



東京国際フォーラム 観客ルート素案

2018年3月末時点

(注) この地図は、国土地理院長の承認(平24閣公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(29都市基交第847号)して作成したものである。無断複製禁ずる。



都が実施するシティドレッシング箇所

②ラストマイル（その2）

別添地図 1-4

国技館 観客ルート素案

2018年3月末時点

(注) この地図は、国土地理院長の承認(平24関公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(29都市基交第847号)して作成したものである。無断複製禁ずる。

※本資料にある各ルートは検討中の案であり、今後追加・変更の可能性がある。

会場の計画を調整中のため、当該範囲内は今後検討

国技館

凡例
 ← 歩行者ルート(入場)
 → 歩行者ルート(退場)
 ◆◆ アクセシブルルート

0 100 200m

馬事公苑 観客ルート素案

2018年3月末時点

(注) この地図は、国土地理院長の承認(平24関公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(29都市基交第847号)して作成したものである。無断複製禁ずる。

※本資料にある各ルートは検討中の案であり、今後追加・変更の可能性がある。

会場の計画を調整中のため、当該範囲内は今後検討

馬事公苑

凡例
 ⇄ 歩行者ルート(入退場)
 ※用賀駅等からのシャトルバス(アクセシブル含む)を検討中

0 500 1km

東京スタジアム 武蔵野の森総合スポーツプラザ 観客ルート素案

2018年3月末時点

(注) この地図は、国土地理院長の承認(平24関公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(29都市基交第847号)して作成したものである。無断複製禁ずる。

会場の計画を調整中のため、当該範囲内は今後検討

武蔵野の森総合スポーツプラザ

東京スタジアム

凡例
 ⇄ 観客ルート(入退場)
 ◆◆ アクセシブルルート
 ※別途シャトルバス輸送を検討中
 ※本資料にある各ルートは検討中の案であり、今後変更の可能性がある。

0 200 400m

有明アリーナ 観客ルート素案

2018年3月末時点

(注) この地図は、国土地理院長の承認(平24関公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(29都市基交第847号)して作成したものである。無断複製禁ずる。

※本資料にある各ルートは検討中の案であり、今後追加・変更の可能性がある。

会場の計画を調整中のため、当該範囲内は今後検討

有明アリーナ

凡例
 ← 歩行者ルート(入場)
 → 歩行者ルート(退場)
 ◆◆ アクセシブルルート

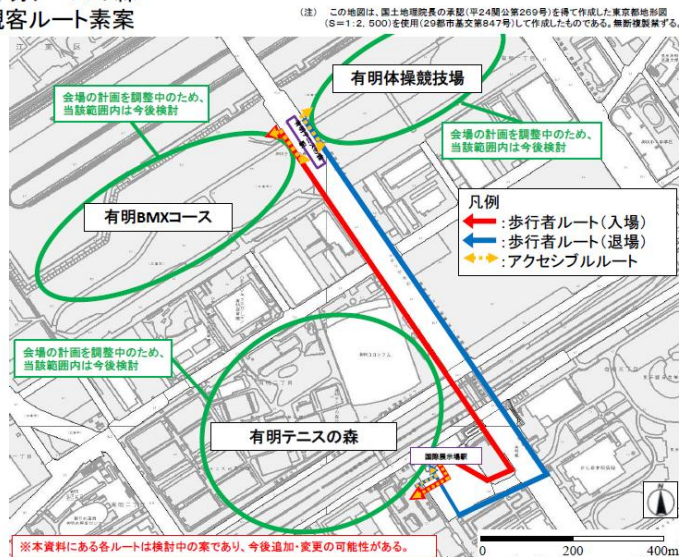
0 300 600m

都が実施するシティドレッシング箇所

②ラストマイル（その3）

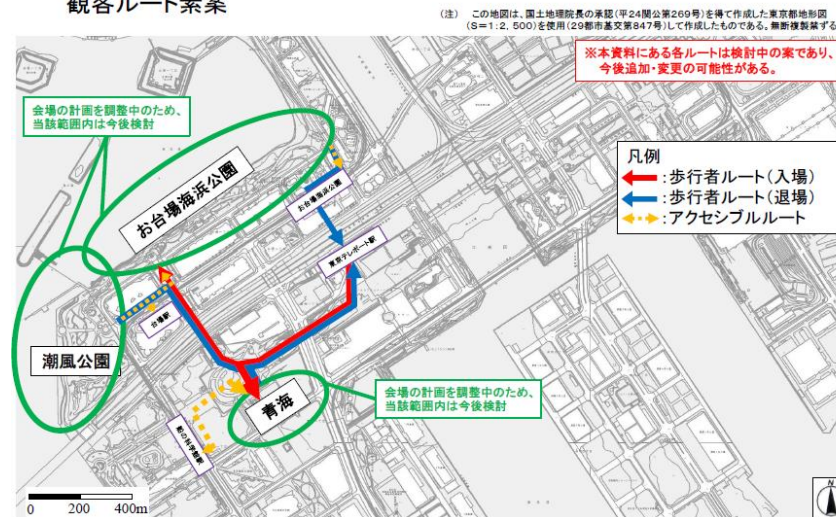
有明体操競技場・有明BMXコース・
有明テニスの森
観客ルート素案

2018年3月末時点



お台場海浜公園、潮風公園、
青海アーバンスポーツ会場
観客ルート素案

2018年3月末時点



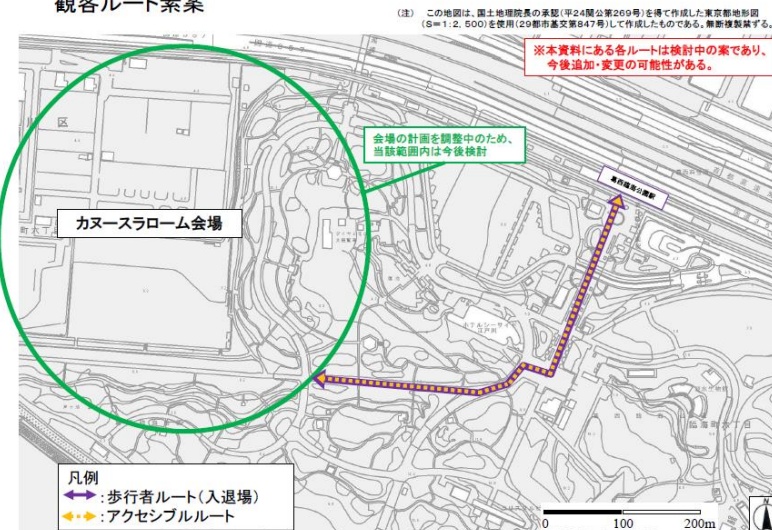
大井サッカー競技場
観客ルート素案

2018年3月末時点



カヌー・スラローム会場
観客ルート素案

2018年3月末時点



都が実施するシティドレッシング箇所

②ラストマイル（その4）

アーチェリー会場（夢の島公園）
オリンピックアクアティクスセンター
東京辰巳国際水泳場
観客ルート素案

2018年3月末時点

(注) この地図は、国土地理院長の承認(平24関公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(29都市基交第847号)して作成したものである。無断複製禁ずる。

※本資料にある各ルートは検討中の案であり、今後追加・変更の可能性がある。

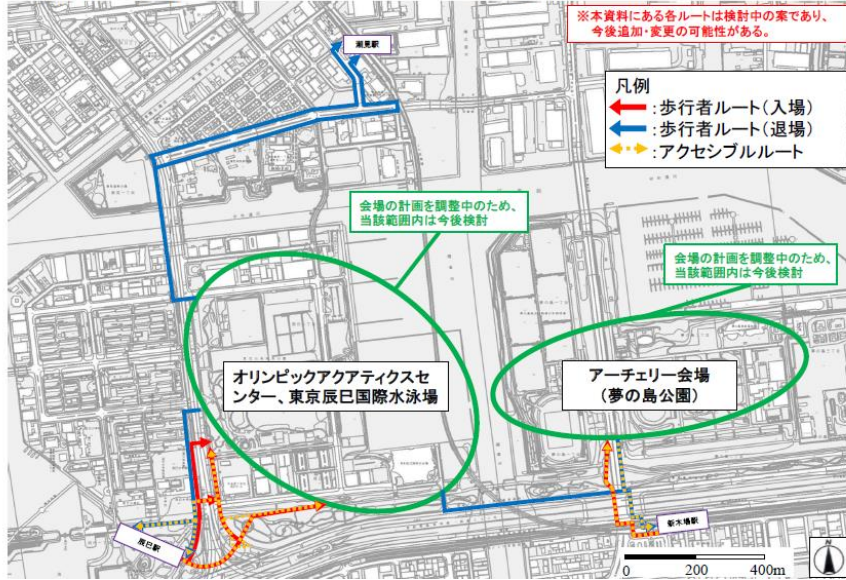
- 凡例
- ←(赤) : 歩行者ルート(入場)
 - ←(青) : 歩行者ルート(退場)
 - ←(黄) : アクセシブルルート

会場の計画を調整中のため、当該範囲内は今後検討

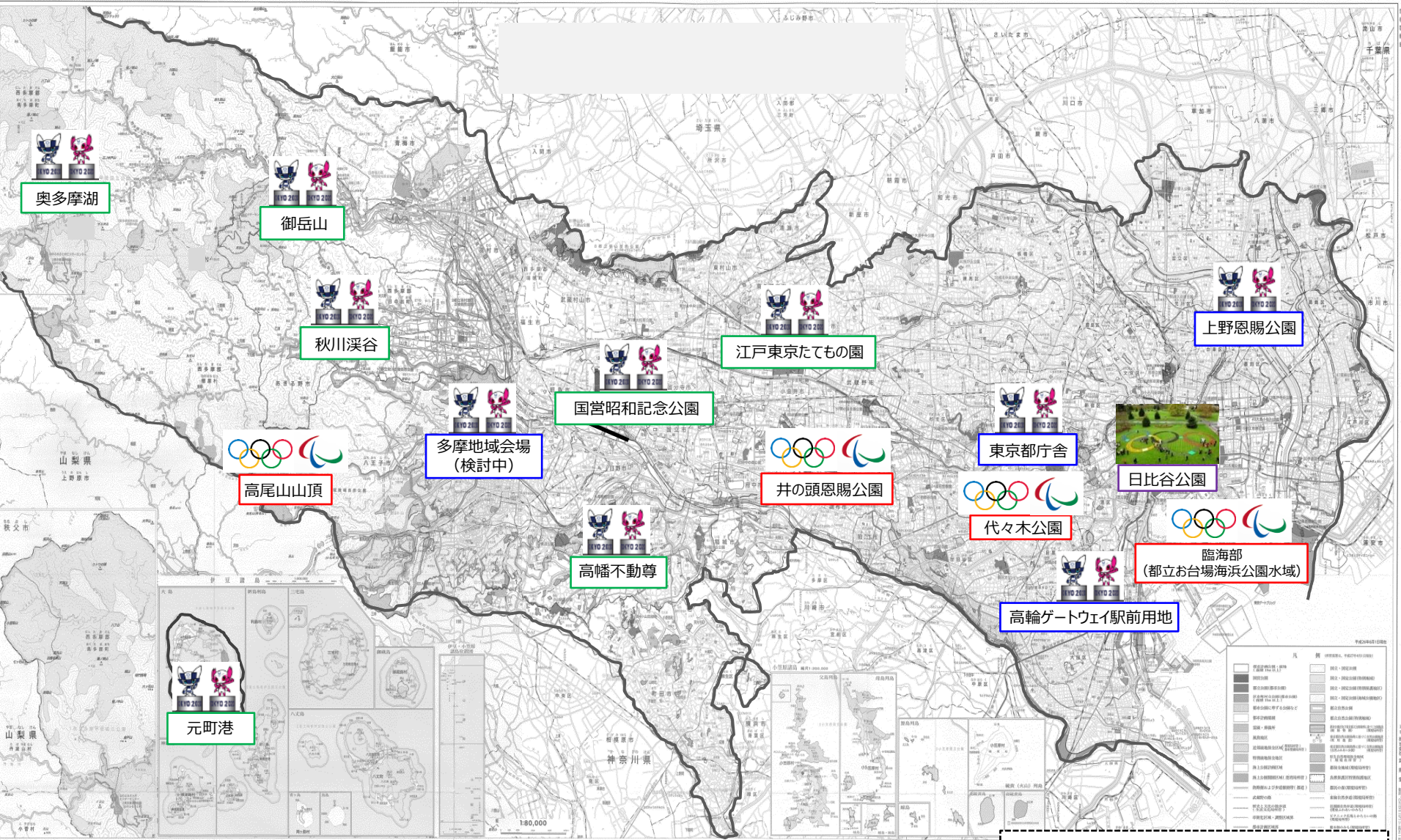
会場の計画を調整中のため、当該範囲内は今後検討

オリンピックアクアティクスセンター、東京辰巳国際水泳場

アーチェリー会場(夢の島公園)



都が実施する大規模展示物の設置箇所



オリンピック・パラリンピック
シンボル

園芸装飾

大会マスコット像
(東京2020ライブサイト等会場)

大会マスコット像
(多摩・島しょ主要観光地)

・東京の玄関口である空港に、オリンピック・パラリンピック
シンボルを設置
羽田空港、成田空港
・ワードマーク (TOKYO2020) については、
空港から選手村までのアクセスルート上に設置

※大会マスコット像のサイズは、高さ1.5mから2mを想定

臨海部（都立お台場海浜公園水域）

1 設置期間（オリンピック終了後、パラリンピックシンボルに転換）

(1) オリンピックシンボル

2020年1月頃から、オリンピック終了（8月上旬）まで

(2) パラリンピックシンボル

オリンピック終了後（8月中旬）から、パラリンピック終了（9月上旬）まで

2 展示物のサイズ等

(1) オリンピックシンボル

横32.5m×縦15m程度



(2) パラリンピックシンボル

横23.4m×縦17.5m程度



※台船に載せて海上に設置し、夜間は照明を点灯させる予定。

3 設置場所

臨海部（都立お台場海浜公園水域）



設置イメージ

シンボルはCG合成



高尾山山頂

1 設置期間（オリンピック終了後、パラリンピックシンボルに転換）

(1) オリンピックシンボル

2020年春頃から、オリンピック終了（8月上旬）まで

(2) パラリンピックシンボル

オリンピック終了後（8月中旬）から、パラリンピック終了（9月上旬）まで

2 展示物のサイズ等

(1) オリンピックシンボル

横3m×縦1.8m程度



(2) パラリンピックシンボル

横2.1m×縦2m程度



※展示物の土台等に多摩産材を使用する予定。また、照明は用いない。

3 設置場所

高尾山山頂



設置イメージ

シンボルはCG合成 写真: 福田洋昭

